



「流用アート論 一九一二-二〇一一年」

メディアプロデュース学部教授 小田茂一

▶A5判/198ページ/青弓社/2,000円+税
/2011.7.21発行

▶大量消費社会と複製文化の進展は、あらゆるものを商品化した。アートの世界では、既にあるそれらを「流用」することで、新たなメッセージを伴う作品へと置き換え続けた。レディメイドとコラージュにより、1912年頃始められた現代アート100年を、流用という視座から辿る。



著者自らが新刊を紹介します。